
だって、ネギまで英雄王だもの！

かめかめか

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

だって、ネギまで英雄王だもの！

【Nコード】

N9967Z

【作者名】

かめかめか

【あらすじ】

顔以外平々凡々なオタク生活を満喫していた大学生は、目覚めたら英雄王になっていた。始まりの舞台は中世ヨーロッパ。金髪幼女と共に、波乱に満ちたネギまな世界を頑張って生き抜く物語。

Zero / 目が覚めたら英雄王

「シンイチー！」

「あーはいはい、今行きますよ」

あまりの眠さに巨大なリビングで欠伸を噛み締めていると、もう聞き慣れた可愛い声が響き渡る。オレの世話をしてくれていたメイドがくすくす笑っているのを咎めることなく、仕方がないので声の主のもとへと向かうことにした。

オレの背丈よりデカイ扉を開け、石造りの廊下をカツカツ歩く。

……改めて実感するけど、ほんつと広いよなー。初めてやってきたときも実感湧かず焦ったけど、金持ちにはデフォだと聞いて更に焦った。城で、なあ？

以前はごくごく一般、どこにでもいるような大学生。母さんが外国人でいわゆるハーフってヤツなんだが、いかんせんオタクでね。運動も並の上ぐらい出来るけど、外で遊ばずアニメ見たりゲームしたりしてる。でも一応小六からずっと付き合っている彼女もいて結構幸せで、大学を出たら結婚も考えてた。

で、いつも通り彼女と遊んで家へ帰宅。ゲームしてメールして、少しノートを整理してからベットへin。本当いつも通り、普通ながら楽しい一日だった。こんな取り柄の無い男に皆が羨む彼女がいたのは天文学的確率の奇跡だったけどな。

そんで本題。気が付いたら英雄王になってました。

オレも意味がわからんのでどうしようもない。さっき言ったようにいつも通り寝て、何故か妙に強い日差しで起きたらギルガメッシュだ。もともと金髪な上、イケメンに分類される(らしい)オレがギルガメッシュになったら、なんか進化したみたいだ。浮世離れた面持ちに、鮮血のように紅い瞳。目は件の慢心王みたいに鋭くはなく、どこことなく人懐っこさを感じられる。

……なんて冷静に分析してみるが、内心かなり焦ってた。面白半分で近くに落ちてた鍵みたいな剣で遊んでたら、まさかのバビロン発動。辺り一帯を更地にしてしまったのは良い思い出だ。

仕方がないので倒れてた森を出てみると、これまた見慣れない風景が広がる。けど何処かで見たとあるなー、と思って記憶を探ってみれば、高校の修学旅行で行ったフランスの美術館に飾ってあった絵そっくりじゃねえか。

で、だ。色々調べてみると、現在中世のフランスということが判明。初めはあまりの出来事に絶望していたが、とりあえず出来ることをした。それでなんやかんやあって、今はここの領主さんの世話になっている。

「シンイチ、今日は何して遊ぶ!？」

「なんでもいいけど……くるみでも探すか？」

「くるみ？」

「そ。今から一時間きっかり、外で多くくるみを探したほうが勝ちだ！」

「えー、外は寒いし……」

とか言って、この金髪幼女は外に出ようとしな。確かに寒いけど、適度に外で運動しないと健康に悪いからな。ここは、心を鬼にして外へ出させよう。

「そう言うなってエヴァンジェリン。外も楽しいぞ？」

「雪降ってるし」

「ま、まあ、それも乙じゃねえか。雪見酒ってのは、いつの時代も旨いものさ」

「私お酒飲めない……」

「若いんだから大丈夫だ。オレの財力をなめんなよ？ 低アルコール

ルの酒なんざ、わんさか有るぜ」

じゃあそれで一発貴族にでもなりやいいじゃん、って話なんだが、そんなことをすれば目立ち過ぎる。王の財宝の力は原作ゲート・オブ・バビロンながらに健在で、ぶっちゃけ無いものは無い。絶世の美酒や、サッカーボールより大きいダイヤモンド。果てには、身の回りの世話をさせるための自動人形オートマタが、数えきれないほど無造作に突っ込んであった。…金ぴかよ、少しは整理しといてくれや。

「でも……」

「ほら行くぞ！」

「きゃあ!？」

金髪幼女を担ぎ上げ、三階から飛び降りる。

オレはこの金髪幼女、エヴァンジェリン・A・K・マクダウェルの子守り係。只今大絶賛ギルガメッシュ中の、シンイチ「ナカジマだ。

Z e r o / 目が覚めたら英雄王（後書き）

はじめまして、かめかめかです。さっきまでG T 観てた結果、こんなH N になりました。

まだまだ未熟ですけど、これからもよろしくお願いします！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9967z/>

だって、ネギまで英雄王だもの！

2011年12月30日22時48分発行